

人に安全な濃度のオゾンが 室内に付着した菌やウイルスを低減



誘導体バリア発生体搭載



濃度センサ管理機能付きオゾン発生装置

TM-2.0C

全国の救急車約2,600台以上に搭載 この国のエッセンシャルワーカーを守ってきました

初搭載は
2008年

新型インフルエンザウイルス感染疑い患者を搬送した場合の感染防護を目的として初めて搭載され、その後、全国の救急車の約4割に搭載された実績があります。



オゾンの安全な濃度を守る

オゾンの安全基準・レギュレーションについて

日本・米国では、オゾンの人体への影響を考慮した環境基準が設定されています。弊社では、この基準を順守し、お客様の安全の確保に努めています。

 作業環境基準
日本産業衛生学会

許容濃度

0.1ppm (0.2mg/m³) 1963年

労働者が1日8時間、週40時間程度、肉体的に激しくない労働強度で有害物質に曝露される場合に、当該有害物質の平均曝露濃度がこの数値以下であれば、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響がみられないと判断される濃度。

 室内環境基準
アメリカ合衆国
食料医薬品局 (FDA)

最大許容濃度

**0.05ppm (24時間)
1992年**

室内オゾン濃度をコントロール



側面オゾン濃度センサー

環境オゾン濃度が0.05ppm/0.09ppmになると、オゾン発生を自動停止 (設定により変更可能)

ご使用者の安全を守りながら、菌やウイルスを低減

小型オゾン機器として欲しい機能を全て搭載

◆近接センサー搭載…①

人が至近距離に近づくと、オゾン発生を停止する安全機能

◆濃度制御…②

0.05ppm/0.09ppmになるとオゾン発生を自動停止

◆オゾン発生レベル…③

オゾンの発生量を部屋の広さに応じて調節

◆コニカミノルタ製(日本製)

コニカミノルタメカトロニクス社の最先端工場にて製造。最高の品質を実現しました。



開発中のモデルにつき、仕様やデザインが相違することがあります。

⚠ 安全に関する注意

ご使用の際は、
取扱説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。

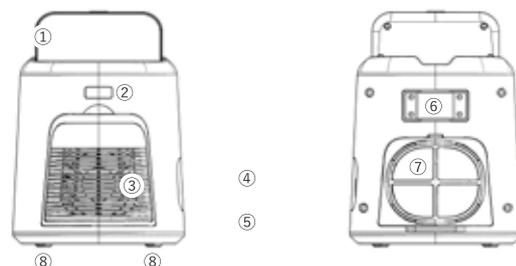
- このカタログに記載の商品は国内一般家庭用です。
- 塩素系・酸性タイプの洗剤や可燃性ガスの入ったスプレーを近くで使用しないで下さい。
故障や火災の原因になります。
- 定格の電源電圧100V以外使用しないでください。
- オゾン濃度があがると、まれにオゾン臭が不快に感じる場合があります。
その場合は換気をしてください。
- この装置を使用する際は決められたACアダプタを使用ください。
- 本商品は医療機器ではありません。

【使用上のお願い】

- 吸気フィルターや吹き出し口をふさいだり異物を入れないでください。
- 吸気フィルター・吹出口はこまめに掃除してください。
- 機器のお手入れをする際は、シンナー・ベンジン・ガソリンなどは使用しないでください。
- 使用中に身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し医師にご相談ください。

[仕様(本体)]

型式	TM-2.0C
オゾン発生方式	誘電体バリア放電方式
オゾンガス発生量	50mg/h
オゾン発生レベル	レベル1:10mg/h 4秒発生、16秒停止の繰り返し レベル2:20mg/h 8秒発生、12秒停止の繰り返し レベル3:30mg/h 6秒発生、4秒停止の繰り返し レベル4:50mg/h 連続運転
オゾン濃度設定	0.05ppm、0.09ppm
オゾン濃度センサー	OGS-01
近接センサー仕様	有効距離24cm±3cm(前面より反射のないこと)
消費電力	6.1W
定格入力	DC12V/0.5A
風量	最大50m ³ /h
使用温度・湿度	5～35℃ 80%RH以下(結露のないこと)
保存温度・湿度	-10～50℃ 20～90%RH以下(結露のないこと)
対応量数	4畳～50畳
質量	約1130g
外形寸法	パネル折りたたみ時:W195×D146×H218mm パネル直立時 :W195×D146×H269mm



- ①操作パネル
運転操作を行います。
- ②近接センサー
遮蔽物を感知します。
- ③吹出口
オゾンガスが放出されます。
- ④オゾン濃度センサー
室内のオゾン濃度を測定します。
- ⑤ACアダプタ差込口
ACアダプタを接続します。
- ⑥取付板
壁に設置する場合に使用する金具です。
- ⑦吸気フィルター
空気の吸い込み口です。
- ⑧ゴム足
- ⑨清掃ブラシ
発生体清掃用ブラシです。
- ⑩発生体
オゾンを発生させます。
- ⑪送風ファン
背面から吸気し、前面から吹出します。

